

1. 件名

ASEAN における中小企業への省エネ技術導入ポテンシャルに関する調査

2. 目的

ASEAN 諸国に存在する企業の多くは中小企業となっており、いわゆるベンチャー企業を含む、中小・ベンチャー企業等におけるエネルギーの有効活用・省エネルギー化に向けた取組には改善の余地が多くあることから、日本国内の中小・ベンチャー企業の進出が十分に見込まれると考えられる。

一方で、ESG 投資への世界的関心が高まる中、他の先進国もこの省エネルギー化ポテンシャルの高い魅力的な市場への進出を目指しており、他国に先駆けて日系中小・ベンチャー企業等が ASEAN 諸国に進出するためには、現地における課題を的確に把握すると共に、現地ニーズに対応した装置・技術の選定・導入が必要と考える。

本事業では、近年、ASEAN 諸国の中でも特に発展が目覚ましいベトナムに焦点を当て、現地の中小・ベンチャー企業等におけるエネルギー使用状況及び省エネルギー化の概況、政府機関の政策及び支援スキームの状況、ベトナムへ進出を果たした日系企業の事例などを把握し、日系の中小・ベンチャー企業によるベトナム進出の可能性を探る。

3. 内容

(1) ベトナムにおける中小・ベンチャー企業等の省エネルギー技術ポテンシャル調査

まず現状把握のため、ベトナムにおける中小・ベンチャー企業等を対象として、エネルギー使用状況及び省エネルギー化の概況、政府機関の政策及び支援スキームを調査すると共に、ベトナム政府・企業の省エネルギー化を推進する際の課題等を整理する。

次に、本事業において現地進出の対象となりうる有望分野を特定する。現状把握の結果を踏まえ、ベトナムで省エネルギーに関するニーズが大きい領域・技術等を特定する。領域・技術等を特定する際の方法論は応札者が提案書に記載する必要がある。

なお、現状把握、領域・技術等を特定する際には、NEDOと協議して、優先順位付けを行うものとする。

(2) 日本の地方自治体、中小・ベンチャー企業ヒアリング

(1) で特定した有望な技術分野を有する日系の中小・ベンチャー企業候補を特定する。各都道府県における中小企業支援センター等といった地方自治体と連携している組織と協働し、省エネルギー技術を活用したベトナム展開の可能性がある領域・技術を有する日系の中小・ベンチャー企業を選定する。

また、(1) で特定した現地課題に起因する有望な技術分野起点（ニーズ起点）だけでなく、日系企業の有する省エネルギー技術起点（シーズ起点）でのベトナムへの展開の可能性も調査する。具体的には、特に日系のベンチャー企業を中心として、ベトナムでは顕在化していない省エネルギー化ニーズに対応するソリューションを有した日系企業を特定する。

(3) 日越マッチングセミナーの開催

(1) で特定したベトナムにおける中小・ベンチャー企業等のニーズに対して、(2) で特定した日本の中小・ベンチャー企業の有する技術等をマッチングするイベントを開催する。具体的なマッチング方法を、応札者は提案する必要がある。なお、マッチングイベントは、現地における対面およびオンラインで開催するものとし、オンラインでのミーティングプラットフォームや、通訳等に必要となる経費は本事業に含めることとする。

また、マッチング後の実証・商業展開の実現可能性や実効性向上のための提言を行う。NEDOが提供する

補助事業等だけでなく、ベトナム政府による資金支援や、他ファンドによる資金・ノウハウを得られる可能性があれば、その活用策を記載し、マッチングイベントに参加した日本・ベトナムの中小・ベンチャー企業等に共有することとする。また、必要に応じて、JETRO等との連携を行う必要があるため、応札者は予めこの可能性を考慮して提案する必要がある。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2024 年 3 月 29 日まで

5. 報告書

提出期限：2024 年 3 月 29 日

提出方法：NEDO プロジェクトマネジメントシステムによる提出

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

6. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。